



大阪女学院

中学校
高等学校

OSAKA JOGAKUIN
JUNIOR & SENIOR
HIGH SCHOOL

2027
SCHOOL
GUIDE



責任ある自由を学び、 未来創造力を育む。

自ら考え、行動し、その結果を引き受ける、「責任ある自由」を学ぶ。

自由に基づく自主性が尊重され、発揮できることが
本校の大きな特色です。

神によって創られたかけがえのない存在として、
一人ひとりを大切にする本校の雰囲気は自由でのびやかです。

しかし、この自由は自分自身で考え、行動し、
その結果を引き受ける、責任ある自由です。
学校行事を代表する体育大会や文化祭において、
企画から運営までを生徒自身が行うことをはじめ、
学校生活のさまざまな場面で主体的に行動することを学びます。

真の自立心を育み、自分と等しい価値を持った存在として
他者を尊重し、共に生きていくことを学んでいきます。
そして、生徒一人ひとりがそれぞれの特性を活かし、
希望をもって力強く自分の未来を切り拓いていく力を育みます。





INITIUM SAPIENTIAE
TIMOR DOMINI

主を畏れることは 知恵の初め

The fear of the Lord is the beginning of wisdom

建学の精神

(ミッションステートメント)

大阪女学院は創造主を畏れ
キリストの教えに従って
一人ひとりを愛し
何が重要であるかを見抜く力を養い
喜びをもって進んで社会に
仕える人を育む

教育方針

大阪女学院は、キリスト教に
基づく教育をめざし、
神を畏れ、真理を追求し、
愛と奉仕の精神で社会に
貢献する人間を育成する。

1

すべての人間は神によ
って創られたかけがえ
のない存在であると認
識して、人権尊重の精
神をもつ人間を育成
する。

2

自由で伸びのびした
校風の中で、自立した
人間を育成する。

3

激しく動揺し、価値
観が変化する現代社
会の中で、どのような
困難にも打ち克って、
明るく前向きに生きる
人間を育成する。

4

正しい知識を身につけ
させ、日常生活の雑事
をこえて物事の本質を
見極め、国際的視野
で物事を見る力を持
たせる。

5

確かな学力を身につけ
させ、生涯にわたって
学習を続けていく基礎
を確立させる。

6

豊かな情操、高い知
性、思いやりの心をも
って自分を生かし、他
の人を生かす人を育
成する。

大阪女学院の あゆみ

ミッションスクールとして創立された本校は、キリスト教に基づく教育により、多くの生徒を世に送り出してきました。新しい挑戦を重ねながらも、根幹にある建学の精神は変わることなく142年間、脈々と受け継がれています。



創立者
A.D. ヘール 宣教師 (右)
初代理事長
J.B. ヘール 宣教師 (左)

「我々は来日してごく初期に、キリスト教学校の設立が必要だと思いました。」「日本では教育に力を入れ官立学校が数多く造られていましたが、そこでは、万物の創造主である神や、独立した単位としての人格や自分の行動は、自分に責任があるという事を教える事ができなかったのです」「生徒の皆さん、あなたが他の人の良い所を一つでも多く見つける事ができたら、それだけあなたが進歩したのです」



A.E. モルガン 校長
ウヰルミナ女学校校長
1893~1897、1899~1914 在任

「ミッションスクールの目的は、教育だけでなくキリスト教教育です。これら2つが結びついて1つの教育理念になったものです。このような成果は官立学校では得られません。私たちの学校には、役に立つ訓練をキリスト教の雰囲気と環境の中で与えることのできる教師がいます。全てにおいて私たちが目指す事は、何らかの方法で働く義務を悟り、正直に仕事をすることを誇りとし、日常生活の雑事を越えて物事を見抜く力のある人間を形成することです」



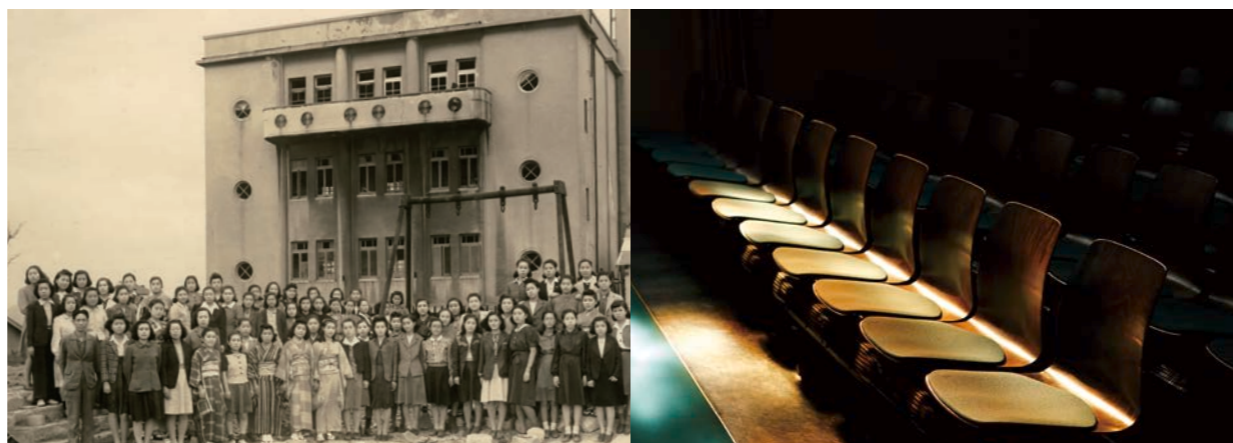
A.M. ドレナン
ウヰルミナ女学校初代校長
1884~1888 在任

「私が私に、お前は何かを持っているのかとお尋ねになったのでしたので、『英語だけです』と答えますと、こうおっしゃったような気がしました。『自分が持っているものを使いなさい』。私が英語を教えるのは、英語教育を通して、あなたがたに聖書の教えを聞かせたいと思うからなのです」



森田金之助 校長
日本人初の校長
1925~1960 在任

「この学校では、教育を宗教宣伝に用いるのではなく、宗教は教育になくはならぬものだと考えています」「この学校では、生徒の名誉と学校の名誉のどちらかと言われたら、躊躇なく生徒の名誉の方を大切にします」



1884 | ウヰルミナ女学校 (Wilmina Girl's School、維耳美那女学校) がカンバーランド長老教会のミッションスクールとして開校しました。生徒数は3名。場所は大阪府西区川口町外国人居留地(市制は1887年から実施されました。現在の大阪市西区川口町ですが、創立当初は大阪府西区が正しい地名。)、校長はA.M. ドレナン先生 (Mrs.America M.Dreinan) で、女学校設立のために前年4月にアメリカから来阪した教育宣教師です。

1886 | 大阪一致女学校が、米国北長老教会のミッションスクールとして開校しました。生徒数は14名。場所はウヰルミナ女学校の道路を挟んだ真向かいにありました。校長はA.E. ガーヴィン先生 (Mrs. Ann E. Garvin) で、4年前から来日して女学校創立の準備をしていました。

1888 | 大阪一致女学校は大阪府西成郡清堀村に土地を購入し、校舎を新築、移転しました。この場所が現在の大阪女学院の所在地で、その後、町名は大阪市東区仁右衛門町と改名され、さらに東区(現在は中央区)玉造2丁目26番地54号と表示変更されました。

1892 | 大阪一致女学校は浪華(なにわ)女学校と改称しました。

1904 | ウヰルミナ女学校と浪華女学校が合併し、校地・校舎は浪華女学校のものを用い、校名はウヰルミナ女学校を継承しました。合併後の校長にはウヰルミナ女学校の校長A.E. モルガン先生 (Miss Agnes E. Morgan) が就任しました。生徒数は150余名。

1940 | 政府が外来語に由来する全学校に校名の変更を指示したため、森田金之助校長はウヰルミナ女学校を「大阪女学院」と改称しました。

1945 | 戦災で全校舎焼失。敗戦後、バラックの校舎を建てて授業を再開、数年後アメリカ長老教会の援助や多くの人々の努力によって校地を拡張、チャペル、校舎再建を進めました。

1947 | 新学制の大阪女学院中学校が発足。

1948 | 新学制の大阪女学院高等学校が発足。

1968 | 大阪女学院短期大学が開学。

1971 | 高等学校・英語科設置。

2003 | 高等学校・英語科が文部科学省より、「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」の指定を受けました。

2004 | 大阪女学院大学が開学。

2009 | 大阪女学院大学院が開学。

2018 | 国際バカロレア・ワールドスクールに認定。高等学校・英語科に国際バカロレアコースを設置。

世界中のだれかと出会い、
感謝して生きる人、喜んで支える人になるための学び。



01 | キリスト教教育

朝の礼拝と宗教行事が
思いやりの心や豊かな
情操を育てていきます。

一人ひとりが神によって創られたかけがえない存在として愛されていると知ることは、どのような困難にも明るく前向きに生きる力になります。学校生活は必ず礼拝から始まり、心静かに自分自身と向き合う時間があります。中学から高校までの6年間「聖書」の授業、修養会、伝道週間、クリスマスなどの宗教行事から、愛と奉仕の精神を学び、思いやりの心や豊かな情操を育てていきます。

キリスト教に基づいた学校行事



花の日礼拝

チャペルに持ち寄った花の美しさを通して、創造主なる神と出会い、放課後は花束と手紙をもって公共施設や老人ホームを訪問して、日頃の感謝や励ましの気持ちを届けます。



収穫感謝礼拝

野菜や果実をチャペルに持ち寄って、すべての命を与える神に感謝し、与えられた神の恵みを分かち合うために近隣の保育園やこども食堂の運営団体などにお届けします。



伝道週間

多くの講師を招く一週間は、聖書の話からより良く生きることについて学びを深めます。また、期間中はクラスでの懇談を行い、自分自身を見つめ直す大切な時間となっています。



人権学習（解放教育）

あらゆる差別や、平和についての正しい認識を持ち、自分自身の心の解放をめざすことを目的とした教育です。年6回の「解放ホールム」や中高全体で行う「全体解放」など、真の自由について学びます。

02 | 女子教育

主体的に行動し、
あらゆる可能性に挑戦する。
世界中、必要とされる場所で、
自分らしい花を咲かせることのできる
女性の育成をめざしています。

女性ならではの視点、発想やリーダーシップを、今、世界は必要としています。自身のありのまま学べる自由な環境の中で、物事の本質を見つめ、自律的、主体的に行動し、また、社会における性別の役割意識にとらわれることなく、あらゆる自分の可能性に挑戦しながら、世界中必要とされる場所で、自分らしい花を咲かせる。そんな女性の育成をめざします。



03 | 国際理解教育

自分らしさを生かして
世界平和に貢献する。
ともに、よく生きるための学び。

異なる文化を適切に理解し、一人ひとりの個性を尊重することが世界平和の基盤です。国際理解を大切にする人は、多言語社会をしなやかに生きていきます。国境を越えて人・物・情報の交流が広がり、関係性の深まる国際化時代に生きる人間として、異文化を理解し、互いを尊重しながら、ともに生きていく国際感覚を身につけることが、本校の国際理解教育のねらいです。そのため多様な文化の理解やコミュニケーションに必要な英語力を養成するとともに、海外研修や交換留学、異文化理解につながる授業や行事など、受容を深めるさまざまなプログラムを実施しています。高等学校の国際バカロレア・ディプロマプログラムも、平和の実現に貢献し、Peace Makerとして、国際感覚を身につけた人の育成に寄与しています。



04 | サイエンス

充実した設備環境で
自然科学の観察・実験に
取り組み、考える力や思考力を
身につけることを目標としています。

大阪女学院の理系教育は、自然科学に興味を持ち、自ら進んで観察・実験に取り組んで、考える力や科学的思考力を身につけることを目標としています。自然科学分野における知識と学力は、思考実験やレポートを取り入れた理科教育、少人数制できめ細かく基礎学力の定着をはかる中学での数学教育によって構築されます。特に理科の実験環境は卓越しており、中高で5つの理科実験室を有し、生徒は2種類の顕微鏡(実体顕微鏡と光学顕微鏡)を一人に一台ずつ使える環境で実験に臨んでいます。また、いくつかの大学の理系学部との高大連携・継続プログラムを設置し、自然科学分野についての高度な知見に触れる機会となっています。



05 | 英語教育

基礎から学び、コミュニケーションのための英語へ。

大阪女学院は、言語についてのスクールポリシー(学校の方針)を定めており、そこには、英語を日本語に次ぐ第二使用言語とすることが謳われています。大阪女学院では、英語の授業だけではなく、様々な行事や学校生活の中でネイティブスピーカー教員と会話をするなど、日常的に英語を使用する環境があります。入学当初は、自信を持って英語を話せない生徒が大半です。基礎から英語を学び、表現力とコミュニケーション能力を着実に伸ばせるシステムが大阪女学院にはあります。大阪女学院の英語教育のルーツは古く、学校を設立したアメリカ人宣教師がコミュニケーションのための英語教育を実践していたことに遡ります。その教育の伝統は綿々と受け継がれているのです。

POINT 01

中高一貫教育を生かした ネイティブスピーカーによる授業

英語の授業のほかに、アクティブコミュニケーション(AC)という独自の科目を1990年より設けており、中学1年より、ネイティブスピーカーによる授業が始まります。中高一貫の利点を生かし、高校入学後も段階的に実践的な英語を学んでいきます。異文化への理解を深めるとともに、英語でのコミュニケーションに必要な力を養成します。

POINT 02

英語運用能力測定に 挑戦

中学では英検を、また高校では英検と留学に必要なIELTSでの高評価を目指して学びを展開します。自身の志望する進路に必要とされる検定試験の受験が奨励され、高得点に必要な英語運用能力の醸成を目指した英語の授業が展開されています。

POINT 03

学校生活に密着した 英語を使う環境づくり

高等学校英語科では、授業時間以外にも英語に親しむ機会として、英語礼拝、英語だけで過ごす英語キャンプ(高1)、マルチカルチャーデイ(高2)などを設けています。また在日留学生とディスカッションやプレゼンテーションの実践を集中的に学ぶGlobal Studies Program(高2)、その準備のためのプレプログラム(中2)を行います。

英語教育のプログラム



夏期海外研修(中3～高3)

夏休みを利用し、カナダや台湾などでホームステイをしながら現地の大学の施設で語学や異文化を学ぶプログラムを毎年準備しています。毎年多くの生徒が参加し、人間的にも大きく成長しています。



留学プログラム

世界中の国と地域へ毎年約20名の中高生が留学へ飛び立っています。3ヶ月の中期留学(中3～高2)、年間留学があります。慣れた環境を離れ、あらゆる困難を一人で乗り越える経験は、生徒を将来の目標を明確に持ち自己表現ができる自立した女性へと成長させています。この経験を糧に希望の進路を叶える生徒が多く、中には海外大学へ進学する者もいます。



国際特別プログラム

中学校では国際特別入学生・帰国生・CEFR A2以上の英語能力取得者を対象に、英語コミュニケーション力を向上する活動として、プレゼンテーションやディスカッションなど、様々なアクティビティを週1回放課後の時間に行っています。



留学生受け入れ・姉妹校

YFU(Youth for Understanding)から、年間留学生を毎年受け入れています。様々な文化圏から集まった留学生との日常的な交流を通して、異文化理解と日本文化理解を深め、互いを尊重し合う心を養っています。また、オーストラリア・シドニーにある女子学校 Ravenswood School for Girls と姉妹校提携を結んでいます。

01 | 国内進路

一人ひとりの特性を伸ばし、その先の進路を見据えた 中高一貫教育

中高一貫の教育計画により、学習効果の高い授業を展開しています。学習に臨む姿勢を育むことから始まり、進路希望の多様化に対応した多彩なカリキュラムで生徒の可能性を広げていきます。大阪女学院では、中高の6年間を進学準備のためだけの期間とは捉えず、自己の特性に気づき、自分の力で未来を切り拓いていけるようになることに重点を置いています。その結果、高い知性と生きる力を身につけた多くの生徒が、大学進学などの希望する進路に進み、それぞれの道を歩んでいます。

高大接続 (高等学校と大学を繋ぐ道)

協定校について



関西学院大学



同志社女子大学



神戸女学院大学



東京女子大学

MESSAGE from TEACHER

愛と奉仕の精神をもって、社会で「なりたい自分」を目指す。 進路指導部長 星 匡浩 先生

「神を畏れ・真理を追求し・愛と奉仕の精神を持って社会に貢献する」という教育方針に従い、大阪女学院の進路指導では生徒が「なりたい自分」に夢を見続けられることを目標にしています。授業や行事など学校生活のあらゆる場面での他者との関わりの中で、考え、話し、行動し、自らの希望する進路(なりたい自分)に向き合い続けられるよう、全体説明会だけでなく、卒業生の話や聞く機会を持ったり、進路室で日々サポートをしています。



02 | 海外進路

教育のグローバル化が急速に進行する今日、大学進学や大学院・キャリア(仕事)を海外に求める生徒が多くなってきています。大阪女学院では、進路指導部に海外進路担当のカレッジ・カウンセラーが配置された、専用の相談室を開設しています。ここでは、海外進路を志す生徒に個別の対応をして、海外の大学や奨学金の情報を提供し、出願など海外進学準備の手助けをしています。その相談室は、「ワールド・カフェ」の名で親しまれていて、大学進学に限らず、将来グローバルに活躍する自分をイメージする生徒が集い、世界市民として活躍できる可能性を考える場として、生徒全員に開かれています。

Memorandum of Understanding (海外大学との協定)



実践大学 (台湾)



Temple University Japan Campus (アメリカ・日本)



Trinity Western University (カナダ)



文藻外国語大学 (台湾)



Massey University (ニュージーランド)



Griffith College (アイルランド)

MESSAGE from TEACHER

自信と希望をもって、世界の国々へ羽ばたいていけるためのサポートを。 T.H.E.認定カレッジカウンセラー 鈴木知美

ワールドカフェは海外進路についての多くの情報を揃えたオープンなスペースとして、中学校から高等学校まで、すべての生徒たちのために開かれています。海外大学の教授や担当者に加え、海外に進学したり、既に仕事に就いている卒業生も多く集います。生徒たちが自らイベントを企画、立案して実施するなど、グローバル社会に必要な大きな世界観、やり抜く力、生きる力を知る機会を持つことができます。世界中の国々へ、自信と希望をもって、新たな一歩を踏み出して、社会に貢献できる人材の育成がゴールです。

T.H.E. (Times Higher Education) はイギリスの新聞社TIME が世界中の大学を調査し「世界大学ランキング」を公表する情報誌で、その編集者に認定された海外大学進路相談員がT.H.E.認定カレッジカウンセラーです。

中学校

	1年	2年	3年
学習の流れ		基礎・基本の徹底学習 国語・数学・英語・理科・社会	
		探究学習の課題の設定・情報の収集分析	課題研究プレゼン・レポート
進路指導		世界進路セミナー	
		生徒・保護者対象 進路説明会	
		キャリアガイダンス	進路希望調査

中学ではコース分けをせず、さまざまな学びで得られた知識を通して自分の適性や関心を見極め、中学3年次に高校の普通科文系・普通科理系・英語科の中から最も適した進路を自分で選択できるように指導します。また、独自の手帳(OJダイアリー)を導入し、計画的な学習と進路を考えられるよう指導しています。

高等学校

	1年	2年	3年
学習の流れ	学力を伸ばす基礎・発展学習	進路実現の実践学習	
	普通科 文系コース		I型【私立文系志望】 II型【国公立文系志望】
	普通科 理系コース	I類【理系志望】 2類【難関大学理系志望】	
	英語科 英語コース		I型【私立文系志望】 II型【国公立文系志望】
	英語科 国際バカロレアコース		

※高等学校から入学した生徒には、6年一貫カリキュラムに対応するための補習が高校1年次の入学礼拝前に実施されます。

進路指導	学問別進路ガイダンス	大学別進路ガイダンス	
	コース別に専門領域セミナー実施		
	大学訪問プログラム		

進路ホームルームや学問別進路ガイダンスを通して、「なりたい自分」を思い描き職業を考え、学びたい学問分野を発見します。夏休みにはオープンキャンパスへの参加を勧め、コースごとに専門分野のセミナーを実施し、進路選択の準備期間として自分の将来について考える機会を多く設け、学びたい学問を絞っていきます。

各コースとも大学訪問プログラムなどを実施します。大学での講演や実習を通して、自分の夢の実現につながる学部・学科を見極め、さまざまな学部・学科への理解を深めていきます。また、学内に多くの大学を招いての大学別進路ガイダンスを行なって、大学についても研究を進め、志望校選択をしていきます。各大学のオープンキャンパスに積極的に参加するよう勧められています。

進路ホームルームや説明会をほぼ毎月実施します。また「合格体験記」や最新の資料・冊子を配布するほか、進路指導室には全国の大学や留学に関する資料が充実しており、近畿圏のみならず、首都圏や地方の国公立大学、さらに海外の大学への進学などを含めて幅広い進路実現に向けてサポートしています。学校行事と連携しながら、社会を見つめ自分の将来を考えていけるようにアドバイスしています。

JUNIOR HIGH SCHOOL

中学校

- 基礎・基本の徹底学習
- 一人ひとりの進路に対応することができるカリキュラム

基礎・基本の徹底学習

学びのポイント

論理力・言語能力を養成

中学1・2年では図書館やITを利用した情報の収集・整理の仕方や、感想・意見をまとめ、適切に表現する方法を学び、中学3年では修学旅行で行う平和学習の一貫として、レポートを書きます。

学習サポート

授業以外の単元、個人補習の他、1・2年対象の学習サポートなど、各自の学習状況に合わせたサポートを行っています。また放課後には、チューター付きの自習室、「QJAS」を提供しています。

聖書

創作者ヘール宣教師一家の高邁な、新約聖書のイエス・キリストの生涯を通して人を愛する生き方、また旧約聖書から神を畏れて生きる知恵を学びます。

社会

歴史は1年次から3年次に、地理は1年次と2年次に概要を学習し、基礎学力を身につけて高校に備えます。公民は3年次に政治・経済・国際社会等に関する基礎的な内容を現代史と併せて学習します。

英語

言語を習得するプロセスを重視して、無理なく授業が展開され、英語での高いコミュニケーション能力を培います。2年次から、少人数で行われる授業によって英文速読の力をつけ、加えてスピーチ力、プレゼンテーション力を養います。

数学

1年次から少人数分割授業を実施しています。きめ細やかな授業で、生徒一人ひとりの能力を引き出します。

国語

様々な文学作品に取り組み、読解力を伸ばします。また、弁論大会を通じて自分の考えを構築し、表現する力を養います。3年次には校内で狂言を鑑賞し、伝統芸能に親しみます。

理科

教科書の内容を理科1(物理・化学分野)と理科2(生物・地学分野)に分けて授業を行なっています。2つの実験室では教科書の内容の多くの実験を実際に自分で行います。また、1人1台の光学顕微鏡と実体顕微鏡を設置し、様々な顕微鏡観察を通して興味関心を引き出していきます。授業での知識を用いて、実験・観察を行い、科学的な思考を養っています。

技術家庭

18歳成人を踏まえて家庭生活や消費生活、経済活動の基礎知識を学び、衣食住を中心とした作品製作や、実習を行います。

音楽

歌唱とリコーダーの実技を中心に、楽典、鑑賞の学習を取り入れながら感性を育てています。また、クラスごとにハーモニーを創り出す合唱祭を行っています。

美術

1年次は「見つける」、2年次・3年次は「触れる」をテーマに、絵画、彫刻、デザイン、陶芸など多彩な分野の創作に取り組みます。

保健体育

心身ともに健やかな生活を送るために必要とされる基礎的な身体能力や、身体に関する知識をスポーツ競技や講義を通して身につけます。

自己の特性に気づく3年間

さらに踏み込んだ豊かな学習で

基礎学習の習得から、

一人ひとりの進路に対応することができる

カリキュラム

CURRICULUM OF JUNIOR HIGH SCHOOL

中学校では特別のコースを設けず、全員が同じカリキュラムで授業を行います。
生徒一人ひとりが、将来の自分の生き方や進路を考えていく際に、高等学校への複数の選択肢に対応できるように考えられています。



学びのポイント

LEARNING POINT

POINT 01 高等学校の3つの選択肢に対応できるカリキュラム

POINT 02 愛と奉仕の精神から心身共に成長することができる

POINT 03 体育大会や文化祭など楽しい行事が豊富

先生の声



将来自信を持って世界で活躍できる英語教育を目指しています。

中学校教諭 岡田 若菜先生

本校は今年で創立142年を迎えます。旧ウヰルミナ女学校時代より「生きた英語教育 (Authentic English)」を提唱し続けてきました。この教育内容は今日も大切に受け継がれています。
本校の教育方針である「愛と奉仕 (Love and Service)」は、学びの中で世代を超えて守り続けられました。本校の英語学習は単に受験科目の1つと考えるのではなく、世界の人々と「愛と奉仕」をもってつながるための「国際言語」であることを意識して指導しております。本校で学んだ生徒たちが、将来自信を持って世界で活躍できる英語教育を心掛け取り組んでいます。

カリキュラム (2027年度入学生)

教科 学年	聖書	国語	社会	数学	理科	保健体育	音楽	美術	英語		技術 家庭	総合 学習※	H・R	合計
									英語	AC※				
1年	1	4	3	4	3	3	1	1	5	1	2	2	1	31
2年	1	4	3	4	4	3	1	1	4	1	2	2	1	31
3年	1	4	4	4	4	3	1	1	4	1	1	2	1	31

※ACはアクティブ・コミュニケーションです。※書写は国語の授業の中で実施しています。※美術、音楽は集中講義を実施しています。

※「総合的な学習」の授業では、自ら調べ、思考を深め、レポートやプレゼンテーションで他者に伝える表現の方法を学びます。中学3年間で、人権・平和・キャリアなど、学年に応じた多様なプログラムも展開します。

OJ SCHOOL LIFE

Junior High School

～中学生のある1日の過ごし方～

大阪女学院に通う中学生の実際のスクールライフをご紹介します！(教科はある日の一例です)

朝の礼拝 8:30 - 8:50

必ず礼拝から始まる一日。みんなで讃美歌を歌い、聖書のお話に耳を傾け、とても心が落ち着くひとときです。



4時限 国語 12:35 - 13:25

文章を書くことのできる大阪女学院。弁論大会では多くの人の考えを聞くことができます。文庫本を使った授業もあります。



1時限 数学 9:00 - 9:50

「難しい」と感じる問題が分かったときは本当におもしろい。先生は質問もやすく、分かるまで教えてくれます。



5時限 理科 13:35 - 14:25

化学実験・動植物の観察・フナの解剖…ドキドキの体験しながらの勉強です。でも、一番楽しそうなのは先生かも。



2時限 体育 10:00 - 10:50

バスケ、テニス、卓球、ダンス、夏は水泳、真冬の女学院めぐり(長距離走)と、いろいろなスポーツに挑戦できます。



6時限 技術家庭 14:35 - 15:25

初めて作る携帯プレイヤーやパーカー、手提げ袋、そして炊き込みご飯。難しいけど、自分たちで作ります。少し大人になった気分です。



3時限 AC 11:00 - 11:50

ネイティブスピーカーの先生と英語で話す貴重な機会。楽しく和やかな雰囲気です。でも発表の時は緊張します。



放課後 授業終了

たくさんの種類のクラブはどれも一生懸命、それぞれの輝きを放っています。また、チューター付きの自習室「OJAS」を提供しています。



お昼休み 11:50 - 12:30

毎日待ち遠しい、賑やかで楽しいお昼休みです。食堂の日替わりランチは人気メニュー。



下校 完全下校18:30 冬は18:00

友だちと今日の出来事を話しながら駅までの道を歩きます。一番楽しい時間かも。「さようなら、また明日ね！」



OJ Saturday Programme ~ 2025年度始動 OJサタデープログラム ~

2025年度から始動の、今までにない新プログラム

大阪女学院中学校・高等学校は、学校の正規のカリキュラムを月曜日から金曜日までの5日間で実施し、土曜日は、生徒各自が選んで参加できる、個別最適化を目指した学習体験プログラムを展開しています。自分の進みたい道に即して、用意された講座の中から自分で選んで・学びを深めたり、ボランティア活動や探究する活動に参加するなど、正規の授業ではできない体験型の学習を各自が計画して取り組む時間としています。



SENIOR HIGH SCHOOL

高等学校

- 普通科 文系
- 普通科 理系（一類・二類）
- 英語科 英語コース
- 英語科 国際バカロレアコース



知識を深める3年間

設定された多様なコースで

個々の適性と進路を考えて

普通科 文系

HUMANITY COURSE

人文学系、社会科学系、芸術系など文系学部進学を志望するためのコースです。高校2年次までは、幅広い教科の学びをするカリキュラム編成になっています。高校3年次では、私立大学志望と国立大学志望のコースに分かれて、さらに希望学部の受験に必要な科目を選択して学習していきます。



学びのポイント

LEARNING POINT

POINT 01 | 幅広く教科を学べる

POINT 02 | 進学希望に合わせてコースが選べる

POINT 03 | 文系独自のセミナーで文系の卒業生と交流できる

先生の声



文系領域を幅広く学び、めざす進路の選択肢を広げます。

文系主任 山田 信嗣先生

普通科文系コースは個性豊かな生徒が沢山いて、どのクラスも明るく元気いっぱいです。一つの教科に特化せず、文系科目を中心に幅広く学ぶので、生徒達の興味関心や希望進路は多岐にわたります。日々の授業や友達とのふれあいの中で自分が将来本当にやりたいことは何かを考えることが、悔いのない大学、学部の選択に繋がります。文系独自の行事としては、1年次の3月に文系セミナーと称して、実社会で活躍する卒業生（普通科文系）の話等を聴きます。また、2年次の12月に、大学を訪問し、模擬授業を受けたり本校の先輩である大学生との交流会をもつプログラムがあります。

カリキュラム（2027年度入学生）

学年	教科	カリキュラム												合計
		聖書	国語	地歴	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語(英語)	家庭	情報	探究	
1年	必修	1	4	2	2	5	6	4	1	5	2		2	34
	必修	1	7	5		4		4		7		2	1	33
2年	選択					2				2				
	I型	必修	1	8	4	3			3	2	7			30
		選択									2	2		
3年	II型	必修	1	7	4	2	3	2	3	1	7			30

※3年次のI型は私立文系志望・II型は国立文系志望のクラスです。 ※全学年LHRが1単位設定されています。
※探究については土曜日プログラムで設定されています。

普通科 理系（一類・二類）

SCIENCE COURSE

医療や理工、農学系など理系学部への進学を希望する生徒のためのコースです。
数学・理科の授業時間数が多く、実験や観察、演習などを通じて、将来、理系分野の進路に進むための学力が培われます。



学びのポイント LEARNING POINT

- POINT 01 | 理系コースにしかない実験や授業が豊富！
- POINT 02 | 仲間との議論を通して思考を深めることができる
- POINT 03 | 実習、実験により専門的な学びを体験できる



学ぶ・考える・行動する

理系主任 中村 忍先生

理系の授業では、深く考えたり、活発な議論が展開されたりします。生徒は授業の中でよく考え、内容を具体的にイメージしたあと、互いに意見を交換することによって、新たな気づきを得ることができます。また、理系教科の学習だけではなく、行事や探求、ボランティアなど多くのことに興味を持ち、積極的に参加する生徒が多いのも特徴です。

理系独自の行事としては、理系セミナー、神戸薬科大学薬学部実習（高大連携プログラム）、立山研修などがあり、楽しみつつ、科学的思考をなくくむことを目指しています。

カリキュラム I類・2類共通 (2027年度入学生)														
学年	教科	聖書	国語	地歴	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語(英語)	家庭	情報	探究	合計
1年	必修	1	4	2	2	7	6	4		5	2		2	35
2年	必修	1	5	2		8	6	4		6		1	1	34
	選択													
3年	必修	1	5			6	6	3	2	6		1		33
	選択			3	3									

※探究については土曜日プログラムで設定されています。

英語科 英語コース

ENGLISH COURSE

専門学科として、授業以外でも、英語に触れる機会を増やすことで「読む」「聞く」「書く」「話す」英語の4技能を高度なレベルで習得します。
英語コースは、3年次から私立文系志望のI型と、国公立文系志望のII型に分かれます。



学びのポイント LEARNING POINT

- POINT 01 | 英語を高度な技能で習得できる
- POINT 02 | コミュニケーション能力を高めることができる
- POINT 03 | 英語キャンプなど学科独自のプログラムが豊富



「英語で自分の意見を、発信できる女性」を目指して。

英語学科主事 岡森 瑞歩先生

英語科では「英語を」学ぶだけではなく、「英語で」学ぶ授業がいくつも展開されています。生徒たちはディベートやディスカッションを通して、様々な異なる文化や考え方に触れ、違いと多様性を受け入れる鷹揚さを身に付けていきます。「あなたはどう思う?」「あなたならどうする?」が常に問いかけられる授業では、自分の意見を臆せず発信するための経験を積んでいきます。

授業外でも英語キャンプやマルチカルチャーディといった、英語科独自の行事も多く、インプットだけではなく、アウトプットの場が多く与えられているところが特長といえます。

カリキュラム (2027年度入学生)														
学年	教科	聖書	国語	地歴	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語(英語)	家庭	情報	探究	合計
1年	必修	1	4	2	2	5	4	4	1	7	2		2	34
2年	必修	1	6	5		4	2	4		8			1	33
	選択					2				2				
3年	I型	必修	1	5	4	2		3	2	10		2		32
		選択								3		3		
	II型	必修	1	5	4	2	2	2	3	1	10		2	32

※3年次のI型は私立文系志望・II型は国公立文系志望のクラスです。 ※全学年LHRが1単位設定されています。
※探究については土曜日プログラムで設定されています。

英語科国際バカロレアコースでは、多様な社会・文化を理解し、国内外世界の平和に貢献する人物を養う教育を目指しています。
また、本校は一条校として大阪で初の日本語ディプロマの認定を、受けました。



高等学校
英語科国際バカロレアコース

3つのコア領域

01 知の理論 Theory of Knowledge - TOK

知識とは何かを探求する学習です。社会の事象を様々な角度から見つめ分析し、批判的な視点で問題をとらえることで学びを深めていきます。そこから、自己を管理する能力、他者とコミュニケーションをとる能力、新しい知識を開拓していく能力を育みます。

02 課題論文 Extended Essay - EE

ディプロマ・プログラムの科目で学んだことから、自分で研究分野を設定し、それについて調べ、学び、探求して研究を進めます。その研究成果を、論文としてまとめていきます。

03 創造性・活動・奉仕 Creativity, Activity, Service - CAS

創造的思考を伴う文化的活動・身体的な訓練を伴う体育活動・社会貢献を伴う奉仕活動という3つの分野についての体験的学習を、自分で企画し実践して学びます。その活動についての調査・準備・実施・報告を個人が行い、約半年の共同作業にグループで取り組みます。高度な自主性、積極性、そして協調性が育まれます。



6つの学問
領域と本校で
学ぶ科目

ディプロマ・プログラムでは、「言語と文学」「言語習得」「個人と社会」「理科」「数学」「芸術」という6つの領域があり、それぞれの領域から学校が選択した一つの科目を学んでいます。英語科国際バカロレアコースでは、「言語と文学」領域からは文学 (Japanese A Literature)、「言語習得」領域からは英語 (English B)、「個人と社会」領域からは歴史 (History)、「理科」領域からは生物 (Biology)、「数学」領域からは数学 (Application+Interpretations)、「芸術」領域からは美術 (Visual Art) を履修します。これら6つの領域から選択する科目は、上級レベル (HL) と標準レベル (SL) に全て分かれて設定されており、6領域のうち3~4領域を上級レベル (HL)、その他を標準レベル (SL) で履修することが国際バカロレア機構によって定められています。英語科バカロレアコースでは、文学、英語、歴史の3つを上級レベル (HL)、生物、数学、美術を標準レベル (SL) で学びます。授業中の使用言語については、英語と数学が英語で行われ、他の科目は日本語で行われます。

POINT 日本の高等学校卒業資格も得られるシステム

英語科国際バカロレアコースの高校1年次では、日本の高等学校卒業資格を得るための必修科目を中心に学びます。2年次からは、国際バカロレアの授業中心となりますが、その中でも、日本の高等学校の必修科目として認められているものもあります。それらの学習を総合して、3年間の学習で、日本の高等学校卒業資格も得られます。

POINT 国際バカロレアのディプロマ資格は認定試験で

国際バカロレアの卒業資格とも言えるディプロマは、高校3年次の11月に世界で一斉に実施される国際バカロレアの認定試験を受け、合格点を取ることによって得られます。英語科国際バカロレアコースでは、全ての生徒がこの試験で合格することを目指しています。

先生の
声



社会にかけがえのない貢献ができるための資質と能力を開発します。IBディプロマ・コーディネーター チェックリー先生

The International Baccalaureate Diploma Programme (IBDP) offers students an excellent opportunity to think beyond their borders and learn about a wide variety of topics and issues that affect our world. It gives them freedom to explore their own areas of interest, and gain a number of experiences and skills that will benefit them far beyond their formal education. The IB programme goes beyond other school curricula in instilling in students the qualities and abilities that enable them to become "global citizens" who can make a valuable contribution to society, be it at home or abroad. For students looking for a rewarding (and fun!) challenge that requires them to think critically and creatively, producing valuable work both individually and in small groups, I highly recommend the IBDP.

国際バカロレア・ディプロマプログラムでは、ボーダーレスに物事を考え、現在世界に影響を及ぼしているあらゆる問題について広範に学ぶことができます。生徒たちは自由に自らの関心の領域を探究し、これまでの教育の枠組みをはるかに越えて学習者が学びを深める無数の経験とスキルを手にすることができます。国際バカロレアは、最終的に本人が国内・国外どこにいても、社会にかけがえのない貢献ができる地球市民となるための資質と能力を開発します。この点で、国際バカロレアは、他のどのカリキュラムよりも優れているといえるでしょう。批判的・創造的に物事を考え、個人としても集団としても、価値ある仕事を成し遂げようとする挑戦がバカロレアには満ちています。この挑戦は得ることが多いばかりではなく、やっていて楽しい活動です。そんな挑戦を求め人には、国際バカロレア・ディプロマプログラムを、心から勧めたいと思っています。

カリキュラム (2027年度入学生)																				
教科	聖書	国語	地歴	公民	数学	理科	保健体育	芸術	英語	家庭	情報	探究	DP 国語 HL	DP 英語 HL	DP 歴史 HL	DP 数学 SL	DP 生物 SL	DP 美術 SL	DP 知の理論	合計
1年	1	4	4	2	2	4	4	3	10	2	2	1								39
2年	1						4					1	6	8	6	3	3	3	2	37
3年	1						2						5	7	5	4	4	4	3	35

※国語・地歴・数学・理科・芸術・英語・知の理論の2・3年生での科目内容は国際バカロレア・ディプロマ・プログラムが定めるものです。
※上記表外のカリキュラムとして、課題論文とCAS (Creativity Activity Service) があり、高校2年生のCASは、総合的な探究の時間に充当します。
※DPは国際バカロレアのディプロマ・プログラムを意味します。※HLはハイアーレベル、SLはスタンダードレベルで、それぞれ3科目ずつ履修します。
※芸術と外国語には選択科目があります。

Senior High School OJ SCHOOL LIFE

～高校生のある1日の過ごし方～

大阪女学院に通う高校生の実際のスクールライフをご紹介します！(教科はある日の一例です)

朝の礼拝 8:30～8:50

必ず礼拝から始まる一日。みんなで讃美歌を歌い、聖書のお話に耳を傾け、とても心が落ち着くひとときです。



1時限 国語 9:00～9:50

様々な時代の文学作品を学んでいます。違う時代の人も今の私達と同じ様に感じていたことがわかるのは楽しいです！



2時限 美術 10:00～10:50

自ら選んだ表現方法を通して、ものづくりの楽しさを実感し、自己を表現する力を高めることができます。



3時限 数学 11:00～11:50

公式を暗記するだけでなく、基礎から発展まで幅広い授業があります。難しい所は先生が理解できるまで付き合ってくれるので心強いです。



お昼休み 11:50～12:30

毎日待ち遠しい、賑やかで楽しいお昼休みです。食堂の日替わりランチは人気メニュー。



4時限 理科 12:35～13:25

3つの実験室で行う解剖や化学実験は、はじめはびっくりしたけど、とても興味深い体験でした。



5時限 世界史 13:35～14:25

今世界で起きている時事問題を取り上げたり、身近な映画等からも、世界の歴史を学びます。歴史を学ぶことで“今”を知ることができます。



6時限 英語 14:35～15:25

色んな国から来たネイティブスピーカーの先生達と、様々な話題について話し合い、意見を交わすことで世界の広さを感じる授業です。



7時限 TOK(知の理論) 15:35～16:25

知の理論(TOK)では身近なニュース、OGとのセッション、企業訪問など様々な題材から学びを深めます。



放課後 授業終了

たくさんの種類のクラブはどれも一生懸命、それぞれの輝きを放っています。また、チューター付きの自習室「OJAS」を提供しています。



OJ Saturday Programme ～2025年度始動 OJサタデープログラム～

2025年度から始動の、今までにない新プログラム

大阪女学院中学校・高等学校は、学校の正規のカリキュラムを月曜日から金曜日までの5日間で実施し、土曜日は、生徒各自が選んで参加できる、個別最適化を目指した学習体験プログラムを展開しています。自分の進みたい道に即して、用意された講座の中から自分で選んで、学びを深めたり、ボランティア活動や探究する活動に参加するなど、正規の授業ではできない体験型の学習を各自が計画して取り組む時間としています。



大阪女学院で学び、
世界へ羽ばたく卒業生たちから
あなたへ贈るメッセージ



Message From Graduates
大阪女学院の卒業生たちからの、
リアルなメッセージをお届けします。



英語科英語コース卒業

小泉 菜子
慶應義塾大学 法学部 2年生

いつも背中を力強く押してくれるOJでの学びが今の私を支えています。

現在、私は大学で国家資格の取得を目指す一方で、ゴルフ部の外務役員としても活動しています。200名を超える部員をまとめ、対外試合や他大学とのやり取りを担う中で、冷静な判断力や実行力、何より周囲を思いやる姿勢の大切さを痛感しています。そうした土台は、まぎれもなく、大阪女学院で育まれた「考え、動く力」から生まれたものです。大阪女学院は、学びもスポーツも妥協せず取り組める環境であると同時に、仲間と心を通わせ、人として深く成長できる場所でした。時には悩み、迷い、涙した日々。そのすべてが、今の私の背中を力強く押してくれています。そして、あの時間を共に過ごした仲間たちは、私の人生の宝物です。生涯の友に出会い、自分自身の可能性を信じられるようになった大阪女学院に心から感謝しています。



普通科理系コース卒業

李 紗璃
神戸大学 医学部 3年生

愛と奉仕の精神が今の大学生活や未来への自信に繋がっています。

女学院での日々を通して、個性豊かな先生方と友達にたくさんの刺激を受け、自分の強みを活かして自分らしく生きることの大切さを知りました。置かれたところで咲きなさい、という言葉を実感できた6年間であったと思います。女学院での学びが今の大学生活においても繋がっているし、この先新しいコミュニティに踏み出すときにも自信に繋がると思います。愛と奉仕の精神を大切に、一人一人に寄り添った治療を届けられる医師になりたいです。



英語科国際バカロレアコース卒業 国際基督教大学卒業

吉本 穂乃花
社会人1年目

女学院での出会いと挑戦は今にも繋がる一生の宝物です。

女学院での6年間は、かけがえのない出会いと挑戦に満ちた、本当に恵まれた環境でした。スクールモットーである「責任ある自由」を肌で感じながら、一期生として挑んだIB教育、5年間続けた生徒会活動など、数えきれないほどの挑戦の機会をいただきました。どんな時もお互いを深くリスペクトし、励まし合える仲間たち。一人ひとりの可能性を信じ、温かく背中を押してくださった先生方。ここで得た出会いは、私の人生における一生の宝物です。現在は、少数で構成された新規事業に参画しています。1ヶ月後には状況が全く異なっているような、変化の激しいハードな環境ですが、それはまさに、自ら考え行動できる「自由」と挑戦に満ちたフィールドです。女学院で培った「困難さえも楽しむ力」が、今の私の原動力になっています。



OJ WEBSITE!
大阪女学院 公式サイト

Find our More!

webサイトから見る「Voices of Graduates」

大阪女学院の公式Webサイト内の「Voices of Graduates」ではさらに多くの卒業生からのメッセージを、ご覧いただくことができます。様々な業界で活躍する先輩たちのリアルな声を続々と更新中！左記QRコードから大阪女学院の公式Webサイトへアクセスしてください。



the OJ CAMPUS LIFE 2026

〒 : OSAKA JOGAKUIN Junior and Senior High School

ANNUAL EVENTS
年間行事

CLUB ACTIVITIES
クラブ活動

SCHOOL FACILITIES
施設紹介

SCHOOL UNIFORMS
制服紹介

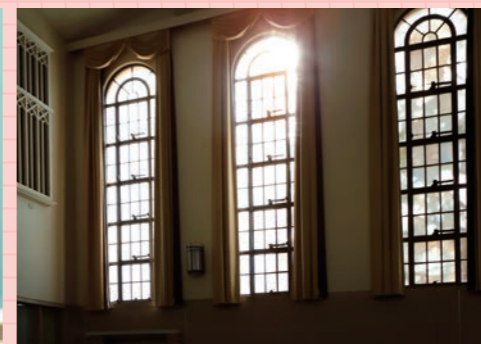
大阪女学院には、宗教行事、文化行事、体育行事などの学校行事があり、多くは生徒が中心になって運営する自主的な活動であることが大きな特色です。豊富な行事を通じて、自立心を育み、他者との共生を学んでいきます。また、「すべての人間は、神によって創られたかけがえのない存在である」というキリスト教精神に基づき、他者との違いを互いに認め合って生きていくことの大切さを学びます。



中高生徒会

Junior and Senior High School student council

大阪女学院の生徒会は、全校生徒から選挙で選ばれた役員を中心に、1年間を通して様々な学校行事を企画・運営しています。主な活動は新入生を歓迎する入学礼拝に始まり、クラブ紹介Dayや体育大会、文化祭の運営等、多彩な行事に力を合わせて取り組んでいます。学校行事の企画運営を通し、多くの人達と関わる事によって感謝の気持ちの大切さに気づき、一人ひとりの力が集結すると大きな事が出来るという達成感や充実感を味わっています。



- Apr - 4

 - 入学礼拝
 - 春の遠足
 - イースター礼拝
- May - 5

 - 母の日礼拝
- Jun - 6

 - 体育大会
 - 花の日礼拝
 - 文楽鑑賞(高1)
- Jul - 7

 - 修学旅行(中3)
 - 合唱祭(高3)
 - 人権学習
 - フィールドワーク(中学)
 - 修養会(中1・2/高1・3)
 - 海外年間留学1年間(高2・3希望者)
- Aug - 8

 - Global Studies Program(高2英語科)
 - 海外夏期英語研修(中3・高1希望者)
 - 狂言鑑賞(中3)
 - 水泳大会(高1)
- Sep - 9

 - 伝道週間
 - 合唱祭(中学/高1・2)
- Oct - 10

 - 文化祭・探究フェス
 - 修学旅行(高2)
- Nov - 11

 - 収穫感謝礼拝
 - 弁論大会(中学)
- Dec - 12

 - 人権学習
 - 公開クリスマス
 - マルチカルチャーデイ(高2英語科)
- Jan - 1

 - 弁論大会(高1/高2)
 - 海外ターム留学1~3月(中3~高2希望者)
- Feb - 2

 - スキー学習(中1)
 - OJEC(中学)
- Mar - 3

 - 卒業礼拝
 - Power in ME(中2)
 - 英語キャンプ(高1英語科)

the OJ CAMPUS LIFE 2026

〒 : OSAKA JOGAKUIN Junior and Senior High School

ANNUAL EVENTS
年間行事

CLUB ACTIVITIES
クラブ活動

SCHOOL FACILITIES
施設紹介

SCHOOL UNIFORMS
制服紹介

クラブ活動には運動部、文化部、宗教部があり、それぞれの部が独自のスタイルと内容で活動を行っています。どのクラブにも魅力がありますが、生徒の表情の輝きは一様に「仲間とともにある喜び」に溢れています。



吹奏楽部

Brass band club

吹奏楽部は、中学1年生から高校2年生までの部員が学年を超えて一つの音楽を奏でています。普段の練習ではパートごとに分かれ、温かい雰囲気のもと練習に励んでいます。上級生が下級生にやさしく丁寧に教えてくれるので初心者の方も大歓迎です。昨年度のコンクールでは高校小編成の部で地区大会から勝ち抜き、大阪府大会、関西大会へと出場することができました。

2024年度 大阪府吹奏楽コンクール 小編成の部 金賞代表 ; 2024年度 関西吹奏楽コンクール 銀賞
2025年度 大阪府吹奏楽コンクール 小編成の部 金賞・銀賞 ; 2025年度 大阪府吹奏楽コンクール 北地区大会 小編成の部 金賞代表



陸上部

中高6学年でいつも声を掛け合い、自主性を養い、初心者から経験者までそれぞれ競技を楽しんでいます。

2023・2024・2025年度 インターハイ 出場 ; 2023・2024年度 近畿コース 出場
2023・2024年度 U-18、国体 出場 ; 2019・2021・2022年度 全中 出場



バトン部

バトン部では、中学1年生から高校3年生までの部員が学年を超えて高め合い、心を合わせ踊っています。練習は厳しいけれど、本番で踊りきった時の感動や達成感は何にも代えられません。

2024年度第45回 関西中学校・高等学校 Japan Cup マーチングバンド・バトントワリング全国大会2025
バトントワリング大会 (中高ボンボン部) ジュニアボンボンの部 優勝
金賞・審査員特別賞 受賞 ; 高等学校ボンボンの部 第2位



テニス部

中学生も高校生も初心者も経験者も、勉強と部活の両立をモットーに、全国大会出場を目指して活動しています。

2022~2025年度 全国選抜大会 連続出場
2009~2025年度 全中 連続出場



サッカー部

中学生と高校生が、一緒に楽しく練習に励みます。多くの生徒が初心者なので、基礎からスタートできます。年3回行われる公式戦出場を目標に、努力しています。

令和2年度 大阪高校サッカー新人戦 第3位



スキー部

オフシーズンにはローラースキーをはじめ、基礎体力作りをします。冬には長野県で合宿を行い試合に臨みます。近年は全国中学・インターハイ・国スポに出場しています。

2022・2023・2024・2025年度 全中・インターハイ・国スポ 出場
2023年度インターハイクロスカントリレー リレー 10位入賞



バスケットボール部



バレーボール部



ソフトボール部



バドミントン部



バイブル部



ラジオ部 (高校のみ)



文芸部 (高校のみ)



2025年度 なにわエコ会議賞 個人・団体受賞
環境問題研究部



水泳部



第14回 全国私立高等学校 弓道大会 女子3位
弓道部 (高校のみ)



合唱部



軽音楽部



学校YWCA部



パラム部



美術部



ハンドベル部



2024年度 近畿高等学校演劇協議会 優良創作脚本賞
演劇部



ESS部 (同好会)



アニメ部



ペン習字部



科学部 (高校のみ)



茶道部



聖歌隊

the OJ CAMPUS LIFE 2026

〒 : OSAKA JOGAKUIN Junior and Senior High School

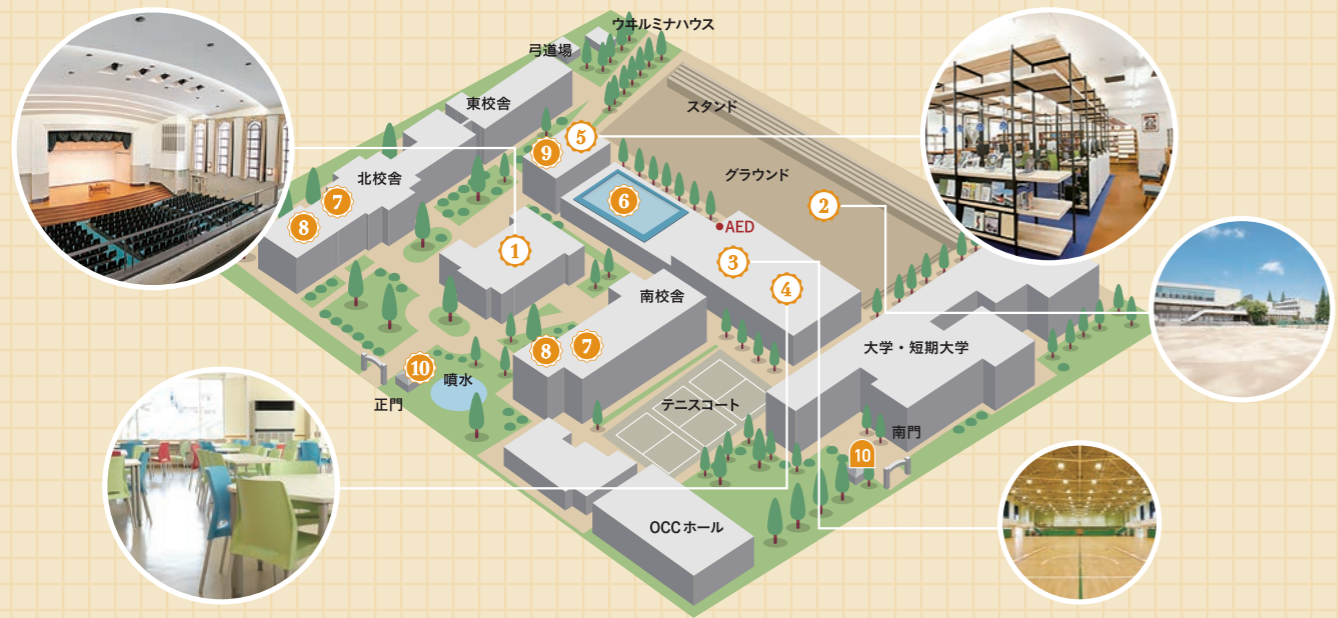
ANNUAL EVENTS
年間行事

CLUB ACTIVITIES
クラブ活動

SCHOOL FACILITIES
施設紹介

SCHOOL UNIFORMS
制服紹介

都心にありながら、緑豊かなキャンパスは、多感な青春時代に豊かな情操を育む上で最適な環境です。本校の伝統を語るヘールチャペルや、洋館の趣を漂わせる校舎、コンピューター設備を整えたマルチメディア教室や図書館など、充実した施設が生徒の学びを支えています。またユニバーサルデザインのキャンパスでは、各所に車イスで利用できるトイレやエレベーターが設置されています。



① ヘールチャペル

歴史ある建築物でありながら、大型スクリーンやプロジェクターなど付帯設備も充実。毎朝礼拝が行われています。

⑤ 図書館

総面積1,270㎡、約16万冊を超える蔵書や、DVD・CDなども備え、インターネットの利用も可能です。

⑨ 調理実習室

薪を利用して焼くピザ窯があります。調理台は女学院オリジナル。調理の後、広々としたテーブルで楽しく試食します。

② グラウンド

緑豊かな環境にあるグラウンド。広々としたこのエリアは、体育の授業のほか様々なクラブ活動で使われています。

⑥ プール

図書館の屋上にあるプールは、体育の授業や水泳大会、クラブ活動などに使用されています。

⑩ 保安室

正門・南門には保安室を設け、校内の出入管理を徹底。警備や安全管理を厳しく行い生徒の安全を守っています。

③ 体育館

体育の授業やクラブ活動など、生徒たちが日々汗を流しています。

⑦ 理科実験室

実験や実習のための機材が充実。実体顕微鏡と光学顕微鏡が1人1台の割合で備えられています。

⑧ 音楽室

個性を育む音楽教育も重視。中学と高校の各音楽教室にはベーゼンドルファーのピアノを備えています。

学校危機管理の一つとして緊急地震速報システムを導入しました。気象庁からの速報を受信し、また直下型地震にも対応して学院に放送が流れます。

登録有形文化財・BELCA賞受賞のヘールチャペル

日本の西洋建築史に多くの功績を残したウィリアム・メレル・ヴォーリズ的设计によるヘールチャペルが国の登録有形文化財(建造物)に指定登録されました。同じく、ヴォーリズ建築の北校舎とともに、適切な維持保全で、長年活用されている建物に贈られる「BELCA賞(ロングライフ部門)」を受賞しました。また、緑豊かなキャンパスも「大阪府施設緑化みどりの景観賞最優秀賞」を受賞、高い評価を得ています。

戦火をくり抜けたエノキとタイサンボク

本校のシンボルマークであるヘールチャペル側のエノキは、校歌にも歌われるほど、大変歴史のある樹木です。また、泰山木も戦時中に焼夷弾により半分が焼け落ちながら、現在も青々と葉を茂らせています。

the OJ CAMPUS LIFE 2026

〒 : OSAKA JOGAKUIN Junior and Senior High School

ANNUAL EVENTS
年間行事

CLUB ACTIVITIES
クラブ活動

SCHOOL FACILITIES
施設紹介

SCHOOL UNIFORMS
制服紹介

本校の制服の歴史は大変古く、自由服の時代を経て現在のスタイルになったのは1971年。デザインを生徒から募集し、色・生地・スカート丈や、胸にエンブレムを付けるところまで投票により決定されました。生徒の意見が細部にまで反映された制服は現在でも大人気です。シンプルな色・デザインに加え、半袖・長袖ブラウス、セーター、ニットベストなど、着こなしのパリエーションが豊富なところも特長です。



活動的なパンツスタイル

パンツスタイル

夏・冬それぞれの生地で、活動的なパンツのオプションがあります。夏のブラウスにはパンツにも合わせやすい角襟のタイプも選べます。



一番人気の女学院スタイル

伝統の女学院スタイル

紺ブレザーとジャンパースカートを、まさに憧れの「女学院スタイル」。気候や好みに合わせて使い分けます。寒い時にはブレザーの中に着用するセーターがあります。



清楚で爽やかな夏スタイル

夏のスタイル

夏のブラウスは愛らしいラウンド型の襟と袖口のカフスが特長。夏スカートと合わせることで、清楚でさわやかな印象に。

UNIFORM DETAIL!



CHECK! 校章

校章は、中学はシルバー、高校はゴールドと色分けされています。ボタンにもエンブレムと同じ『十人のおとめ』がデザインされています。



CHECK! スカート生地

上品なヘリンボン生地、夏冬で風合いの違いを楽しめます。



CHECK! 通学カバン

カバン・ソックスについては、特に規定はありませんが、推奨品として、校章マーク入りのカバン、ファミリアとコラボしたスクールバッグ、軽量で使いやすいリュックがあります。

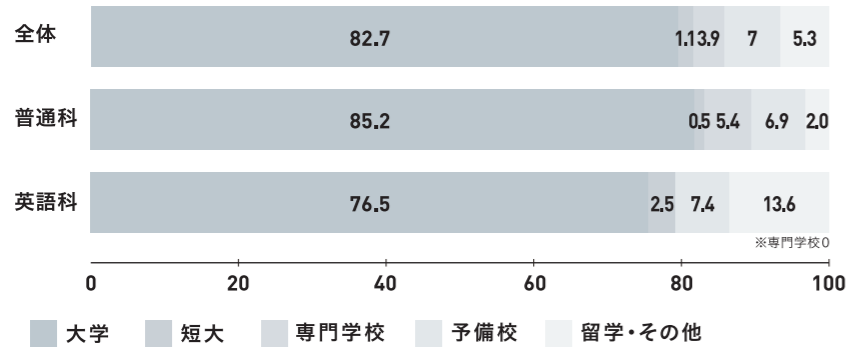
制服エンブレムストーリー



制服の胸エンブレムは、聖書に出てくる「十人のおとめ」のたとえ話(マタイによる福音書25章)を図案化したものです。これには大阪女学院で学ぶすべての人たちが、それぞれの人生の中で本当に大切なものに目を向け、神の呼びかけにいつも心を開くことができるようになって欲しい、確かな真理を学んで歩んでほしい、という願いが込められています。

進路状況

高等学校 2025年3月卒業生の進路



進路	人数(人)	割合(%)
大学	235	82.7
短期大学	3	1.1
専門学校	11	3.9
留学	14	4.9
予備校	20	7
就職	1	0.4
その他	0	0
合計	284	100

大学合格状況 (過去3年間の合格延人数)

()内は過年度卒業生内数

国公立大学	2023-2025年卒3カ年総数	私立大学(関西)	2023-2025年卒3カ年総数
北海道大	1 (0)	関西学院大	183 (21)
大阪大	2 (1)	関西大	63 (17)
九州大	1 (0)	同志社大	55 (5)
秋田大	1 (0)	立命館大	59 (14)
京都工芸繊維大	2 (1)	京都産業大	10 (1)
山口大	1 (1)	近畿大	252 (33)
お茶の水女子大	1 (0)	甲南大	25 (7)
三重大	2 (1)	龍谷大	58 (18)
神戸大	4 (1)	同志社女子大	112 (11)
京都教育大	1 (0)	神戸女学院大	56 (5)
大阪教育大	2 (0)	武庫川女子大	74 (5)
奈良教育大	2 (1)	京都女子大	57 (7)
和歌山大	3 (1)	関西外国語大	49 (0)
岡山大	4 (1)	京都外国語大	16 (0)
鳥取大	1 (1)	京都薬科大	2 (2)
広島大	1 (0)	大阪医薬大	12 (1)
兵庫県立大	1 (0)	神戸薬科大	1 (0)
横浜市立大	1 (0)	関西医大	7 (1)
神戸市外国語大	2 (0)	関西医療大	2 (0)
滋賀県立大	1 (0)	兵庫医科大	4 (1)
京都府立大	2 (0)	大阪歯科大	5 (0)
京都市立芸術大	3 (2)	摂南大	44 (20)
京都府立医大	1 (1)	森ノ宮医療大	4 (0)
大阪公立大	14 (3)	京都芸術大	7 (0)
奈良県立医大	1 (0)	大阪芸術大	14 (2)
名古屋市立大	1 (1)	大阪音大	1 (0)
奈良県立大	1 (0)	畿央大	14 (0)
北九州市立大	1 (1)	大和大	20 (0)
その他国公立大	10 (3)	佛教大	7 (2)
国公立大学合計	68 (20)	その他の関西私大	239 (22)
		私立大学(関西)大学合計	1452 (195)

私立大学(関東・他)	2023-2025年卒3カ年総数
早稲田大	3 (1)
慶應義塾大	4 (1)
上智大	9 (1)
国際基督教大	7 (2)
明治大	11 (0)
青山学院大	2 (0)
立教大	7 (1)
中央大	8 (1)
法政大	5 (2)
東京女子大	9 (0)
津田塾大	1 (0)
学習院女子大	2 (0)
日本女子大	1 (0)
東京理大	3 (3)
昭和女子大	1 (0)
聖心女子大	2 (0)
東海大	2 (0)
帝京大	1 (0)
その他の関東私大	19 (2)
酪農学園大	5 (1)
松本歯科大	1 (0)
藤田医科大	1 (0)
立命館アジア太平洋大	3 (0)
他地域私大	9 (3)
私立大学(関東他)合計	116 (18)
私立四年制大学合計	1568 (213)
短期大学	54 (3)

大学合格者中の理科系等合格状況

※()内は過年度卒業生内数

学部	校名	合格者数
獣医学部	酪農学園大	2 (1)
	松本歯大	1
歯学部	愛知学院大	1
	大阪歯大	1
薬学部	同志社女子大	4
	大阪医薬大	3
	近畿大	1
	武庫川女子大	2
看護学系	東京医療保健大	1
	同志社女子大	5
	大阪歯大	1
	関西医大	3
	大和大	3
	森ノ宮医療大	2
梅花女子大	梅花女子大	4
	大阪信愛学院大	1
	宝塚大	2
	武庫川女子大	2
保健学系	立命館大	1
	大阪樟蔭女子大	1
	関西医療大	1
	四條畷学園大	1
	大手前大	1
	甲南女子大	1
理学系	武庫川女子大	1
	畿央大	6
	大阪公立大	2 (1)
	山口大	1 (1)
	同志社大	1
	関西学院大	6 (3)
神戸女学院大	関西大	2 (1)
	神戸女学院大	6

海外大学への合格状況

※海外協定(MOU)の6大学についてはP.11を参照ください。

2025年3月卒業生	過年度実績
マンチェスター大学(英国)	マンチェスター大学(英国)
シェフィールド大学(英国)	ニューヨーク大学(アメリカ)
グリフィス大学(アイルランド)	コロラド州立大学(アメリカ)
ヴロツワフ大学(ポーランド)	トロント大学(カナダ)
ヘルプ大学(マレーシア)	ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)
イステットウート・マランゴニ(イタリア)	ライデン大学(オランダ)
ランガラカレッジ(カナダ)	フローニンゲン大学(オランダ)
マッセイ(ニュージーランド)	マザリク大学(チェコ)
	他

推薦について

協定校推薦枠	主な特別推薦枠(抜粋)	
	関西地区	関東地区
関西学院大 48名	同志社大 13名	立教大 1名
同志社女子大 10名	立命館大 7名	早稲田大 1名
東京女子大 8名	関西大 10名	中央大 3名
神戸女学院大 11名	近畿大 11名	法政大 1名
	甲南大 4名	上智大 1名
	京都女子大 8名	津田塾大 2名
		東京農大 5名
		日本大 1名
		その他多数あり

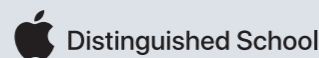
大阪女学院大学

国際・英語学部 / 大学院 21世紀国際共生研究科

大阪女学院短期大学

国際コミュニケーション学科

https://www.wilmina.ac.jp/ 大阪女学院大学 検索



THE 日本大学 ランキング2025 国際性 全国4位 女子大1位

大阪女学院大学への合格状況 ()内は入学者数

	2025年	2024年	2023年
普通科	10 (4)	18 (5)	4 (3)
英語科	6 (0)	19 (2)	3 (2)
合計	16 (4)	37 (7)	7 (5)

大阪女学院短期大学への合格状況 ()内は入学者数

	2025年	2024年	2023年
普通科	0 (0)	12 (6)	1 (1)
英語科	2 (1)	3 (0)	0 (0)
合計	2 (1)	15 (6)	1 (1)

2027年度 大阪女学院中学校 募集要項

募集人員：第1学年190名

受験資格：小学校またはそれに相当する学校を2027年3月卒業見込みの女子

※大阪女学院中学校へは自宅(保護者宅)からの通学を原則とします。

出願種類	国際特別		前期日程		後期日程
			A方式	B方式	
出願書類	ウェブ出願要項は、10月より本校事務室で配布します。				
	事前に出願資格確認のためエントリー書類の提出が必要です。	配布時間：午前9時～午後4時 土曜・日曜・祝日と年末年始(12/24・12/29～1/5)は閉館します。 〈前期日程について〉 ※A方式・B方式の両方に出願することはできません。			
出願期間及び出願方法	12月17日(木)～1月8日(金) ウェブ出願				12月17日(木)～1月17日(日)
	※1/6(水)～1/8(金)午前9時から午後4時まで 校内にウェブ出願ブースを設置します。				
受験料	20,000円(前年度) ※複数日程出願し、いずれかの日程で合格、以降の日程を受験せずに入学される場合は、入学後に各々の受験料を返還します。				
試験日及び試験開始時刻	1月16日(土)午前9時	1月17日(日)午前9時		1月18日(月)午前9時30分	
試験内容	国語・算数(各30分・50点満点) ※ただし、出願資格④に該当する者は、英語によるインタビューテストを実施	3科目 国語・算数・理科 又は、 国語・算数・社会 ※〈国語・算数 各50分・120点満点〉 〈理科・社会 各40分・80点満点〉 ※出願時に受験科目(国、算、理/国、算、社)のいずれかを選択		国語・算数(各50分・100点満点)	
判定方法	国語・算数の合計100点満点で判定	A方式・B方式とも 国語・算数・理科 または 国語・算数・社会 の合計320点満点で判定		国語・算数の合計200点満点で判定	
合格発表	1月16日(土) ウェブ発表	1月17日(日) ウェブ発表	1月17日(日) ウェブ発表	1月18日(月) ウェブ発表	
入学金及び教材費納入	1月18日(月) ウェブシステムにて決済		1月22日(金) ウェブシステムにて決済 合格者面接終了後、制服採寸等を行います(本人・保護者)		
合格者面接・制服採寸等	1月19日(火) 合格者面接終了後、制服採寸等を行います(本人・保護者)				
入学者招集日	第1回	1月23日(土)〈本人・保護者〉 入学者説明会			
	第2回	3月6日(土)〈本人・保護者〉 入学者手続			

※複数日程出願し、「国際特別」「前期日程」に合格された場合は、「後期日程」の試験を受験することはできません。
※所定の日に時に来校されない場合は、入学辞退とみなします。(詳しい時間はウェブ出願要項に記載しています。)
※いったん納入された入学金は、理由のいかんにかかわらず返還いたしません。
※合格発表後の詳細は、入学手続き時にお渡しする書類に記載しています。

【国際特別入試 出願詳細】

本校を第1志望の方が対象です。事前エントリー方式とします。
エントリー書類配布期間：10月3日(土)入試説明会より12月4日(金)まで本校事務室で配布します。
エントリー書類受付期間：11月24日(火)～12月7日(月)必着。郵送のみ。窓口持参不可とします。

出願資格によって提出書類が異なりますので、以下の表をよく確認してください。
エントリー書類を受領後、出願資格の確認等を行い、その後出願可否の通知とウェブ出願に必要なコードを発送します。

	出願資格	必要書類 ※エントリー書類に下記の書類を添えて提出してください。
①	小学校5年生12月以前に帰国し海外のインターナショナル小学校または、英語で授業が行われている現地小学校に通算2年6ヶ月以上在籍していた者。	海外における全ての在籍校の在籍期間の証明書またはこれに相当するもの。
②	日本国内のインターナショナル小学校に通算2年6ヶ月以上在籍し、卒業見込みの者。	国内のインターナショナル校の在籍期間の証明書またはこれに相当するもの。
③	実用英語技能検定3級合格以上、実用英語技能検定以外の資格については、CEFR A2以上の能力を、文部科学省平成30年度「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」に記載の資格・試験で証明する書面を提出できる者。	英検その他の資格およびスコアを証明出来る書類。(コピー可)
④	①～③の該当者以外で、小学校における英語学習を通じて、語学学習や国際社会の理解に強い関心があり、かつ①～③と同レベルの英語によるコミュニケーション能力が備わっている者。	

大阪女学院中学校 入試データ (過去3年間)

年度	2024				2025				2026				
	国際特別	前期日程A方式	前期日程B方式	後期日程	国際特別	前期日程A方式	前期日程B方式	後期日程	国際特別	前期日程A方式	前期日程B方式	後期日程	
教科・配点	受験資格によって英語によるインタビューテスト。 国・算に関しては基礎学力のみを測る。他とは異なる入試の為※得点は非公表	《4科目型》 ①国・算・理・社の合計 ②国・算・理の合計×1.25 ③国・算・社の合計×1.25 ※上記①～③の最高得点 《3科目型》 国・算・理の合計×1.25		国・算(各100点満点) 計200点満点	受験資格によって英語によるインタビューテスト。 国・算に関しては基礎学力のみを測る。他とは異なる入試の為※得点は非公表	《3科目》 国・算・理 または 国・算・社 国・算 各120点満点 理または社 80点満点 計320点満点		国・算(各100点満点) 計200点満点	受験資格によって英語によるインタビューテスト。 国・算に関しては基礎学力のみを測る。他とは異なる入試の為※得点は非公表	《3科目》 国・算・理 または 国・算・社 国・算 各120点満点 理または社 80点満点 計320点満点		国・算(各100点満点) 計200点満点	
募集人数	190				190				190				
出願者数	50	160	89	117	33	158	59	150	43	210	79	187	
受験者数	49	130	84	50	33	137	50	64	43	189	72	92	
平均点	-	223.90	280.80	118.5	-	179.70	215.60	125.5	-	175.90	203.50	105.8	
最高点	-	362.50	376.25	184	-	278.00	278.00	182	-	288.00	274.00	174	
最低点	-	70.00	128.75	49	-	92.00	134.00	44	-	56.00	130.00	26	
国語	受験者平均点	-	86.3	99	66	-	87	92.8	72.3	-	79.2	89.3	61
	受験者最高点	-	114	117	92	-	116	114	93	-	113	112	87
	合格者最低点	-	58	59	47	-	52	70	53	-	48	61	52
	合格者平均点	-	89.7	100.6	72.9	-	88.2	93.5	79.1	-	84	90.9	73.6
算数	受験者平均点	-	49	70.1	52.5	-	54.7	73.3	53.2	-	57.4	70.3	44.8
	受験者最高点	-	106	116	92	-	112	108	89	-	107	110	91
	合格者最低点	-	12	34	26	-	23	36	26	-	20	31	38
合格者平均点	-	52.2	71.4	64.7	-	55.7	74.2	59.9	-	63.6	72.9	68.3	
理科	受験者平均点	/	42.9	55	/	/	37.0	50.4	/	/	39.3	44.5	/
	受験者最高点	/	73	78	/	/	67	72	/	/	68	66	/
	合格者最低点	/	18	29	/	/	16	21	/	/	20	29	/
	合格者平均点	/	44.8	55.9	/	/	37.8	50.8	/	/	42.2	45.3	/
社会	受験者平均点	/	30.8	47.8	/	/	39.8	48	/	/	39.1	43.1	/
	受験者最高点	/	65	72	/	/	61	68	/	/	59	64	/
	合格者最低点	/	14	17	/	/	10	18	/	/	18	24	/
	合格者平均点	/	32.6	48.2	/	/	39.8	48	/	/	42.6	45.8	/
合格点 ^{※1}	-	157.50	173.75	94	-	125.00	139.00	94	-	139.00	153.00	120	
合格者平均点	-	234.40	285.75	137.6	-	182.50	217.30	139	-	189.90	209.30	141.8	
合格者数	45	118	81	35	24	132	49	51	27	152	66	29	
辞退者数	101				84				82				
編入者数 ^{※2}	0				1				1				
入学者数	178				173				193				
倍率 ^{※3}	-	1.10	1.03	1.42	-	1.04	1.02	1.25	-	1.24	1.09	3.17	

※1:合格は、各教科の合計点で決定します。特定教科の基準点ではありません。
※2:編入者数は、同時期に実施した海外帰国生徒編入試験に合格し、中学1年に入学した生徒数です。
※3:倍率は、受験者数/合格者数です。

※2025年度より前期日程4科目型はありません。

校納金(2026年度入学生分)

学費	① 入学金	230,000円	預り金	⑥ 諸費	副教材費、健診、音楽会、観劇費用等	80,000円	年額(中学1年時) ※学年により金額が異なります
	② 授業料	650,000円		年額	⑦ 制服・学用品	128,360円	
諸会費	③ ハール会(PTA)	14,400円	年額	⑧ 教材費(タブレット端末)	61,644円		
	④ ハール会(PTA)奨学基金分担金	2,000円	初年度のみ	⑨ 副教材費用	約20,000円		
預り金 [※]	⑤ 積立金	修学旅行費、遠足、修養会、卒業謝費用等	100,000円	年額(中学1年時) ※学年により金額が異なります			
入学時納入金 : ①+⑦+⑧ = 420,004円 ⑨は第2回入学手続き日後に振込納入 入学後3期分納額 : ②+③+④+⑤+⑥ = 846,400円							

※卒業時に精算し、残高は返金します。

帰国生徒 募集要項

募集時期と募集学年

中学校では全学年、高等学校では2学年にわたって募集しています。
 ※中学校の一学期編入とは、帰国後4～7月の間に当該学年に編入するもの、
 同様に二学期編入とは9～12月の間に、三学期編入とは1～3月の間に
 当該学年に編入するものとします。

1 試験日

【中学校】

	一学期編入	二学期編入	三学期編入
1年	12月上旬・3月上旬	7月下旬頃	12月上旬
2年	3月中旬		
3年			

【高等学校】

	4月編入	9月編入
1年	12月上旬	7月下旬
	一般入試と同一日	
2年	3月上旬	

2 出願期間

【中学校】

	一学期編入	二学期編入	三学期編入
1年	試験日の 5日前まで	試験日の 5日前まで	試験日の 5日前まで
2年			
3年			

【高等学校】

	4月編入	9月編入
1年	試験日の5日前まで	試験日の5日前まで
2年		

※出願受付時間：月～土曜日9時から4時まで

3 場所：本校

4 内容：学科試験（国語、英語、数学）各教科60分。
 ただし、中学校1年一学期編入希望者のみ、
 国語、算数の2教科（各教科60分）

5 発表：当日の午後、本人及び保護者へ合否を通知します。
 ただし、中学校1年一学期編入、高等学校4月入学のみ、
 別途指定の日に関係なく合否発表を行います。

出願資格

- 1 保護者の海外在留に伴い本人の海外生活が引き続き1年6ヶ月以上で、保護者と共に帰国する者。
- 2 帰国後1ヶ月以内に面接を受けて受験を認められた者。ただし、中学校1年一学期編入、高等学校1年4月入学を希望する場合は、次の要項になります。

〈中学校1年一学期編入について〉

- ※ 小学校5年（相当）時の1月以降に帰国し、帰国後6ヶ月以内に面接を受けて受験を認められた者。
- ※ 中学校1年の4～7月の間に帰国予定の者。

〈高等学校1年4月入学について〉

- ※ 中学校3年（相当）の6月以降に帰国し、面接を受けて受験を認められた者。

- 3 帰国後保護者と同居する者。
- 4 専願受験であること。すなわち、編入試験に合格した場合必ず入学する意思のあること。

出願手続

1 面接

出願資格②による通り、出願には面接での受験の許可が必要です。面接の結果受験を認められた者のみ願書をお渡しします。従って、願書の郵送等は行っておりません。また、学年によって出願期間が異なりますので、面接の時期に注意してください。

2 提出書類

A. 面接時に提出するもの

- (a) 海外生活を証明する書類（保護者の所属する機関の長の発行するもの）
- (b) 海外における最終在籍校の在学（または卒業）証明書、及び成績証明書またはこれに相当するもの。
- (c) 中学校1年に一学期編入を希望し、帰国後国内の小学校に在籍している者は、当該校の在学（または卒業見込）証明書
- (d) 高等学校1年に4月入学を希望し、帰国後国内の中学校に在籍している者は、当該校の在学（または卒業見込）証明書

3 面接の後、交付を受け提出するもの

- (a) 入学願書（本校所定の用紙。校長印等は必要ありません。）
- (b) 入学志願者個人調査書（本校所定の用紙）
- (c) 検定料

備考

- 1 帰国生徒のみの特別学級は設けず、一般生徒とともに学習する混合方式をとっています。
- 2 定期の編入試験期日後に帰国した場合は、事情を考慮して次期試験まで「聴講生」として取り扱う場合もあります。なお、現地日本人中学校および高等部在籍者の急な帰国に関しては、別途編入の審査を行い、便宜を図る場合もあります。
- 3 高等学校には普通科文系・理系と英語科がありますが、どの科に入学するかは本人の希望と試験によって決定します。

帰国生問い合わせ
 フォーム

帰国生入試に関するお問い合わせは、学校ウェブサイトの問い合わせフォームにて承ります。

URL：https://form.run/@KikokuForm



キャンパスNAVI

小さなグループに分かれて、キャンパスキャストと一緒に校内を探検します。ミニ授業など、様々なポイントをまわるスタンプラリーや、制服紹介コーナー、なんでも相談コーナーなど、楽しいプログラムが盛りだくさんのイベントです。

対象

小学生女子（保護者同伴）
 ※対象学年は回によって違います。



オープンキャンパス

生徒たちが毎日過ごしている教室で授業を受けたり、キャンパスの見学などができます。他にも、在校生からのウェルカムスピーチやクラブ活動の見学など、大阪女学院の魅力がぎゅっと詰め込んだプログラムを用意しています。

対象

中学生・小学生女子（保護者同伴）
 ※対象学年は回によって違います。



evening説明会

在校生の保護者や卒業生を交えながら学校のことをお話しする、和やかな説明会です。お仕事帰りにも参加いただける時間に設定しています。お気軽にご参加ください。

対象

受験生と保護者



入試説明会

入試全般に関する説明と、各教科からのアドバイスがあります。複数回行いますが、全て内容は同じです。本校の受験をお考えの方は、必ずいずれかの回にご参加ください。

対象

受験生と保護者

受験生イベント

イベントのご案内

学校説明会・入試説明会

受験生・保護者の皆さまに、キャンパスの雰囲気や生徒たちの様子を
 ご覧いただける行事のいくつかをご案内します。

※秋の入試説明会以外のイベントは、ウェブでの事前申し込みが必要です。

大阪女学院 公式WEBサイト
 イベントお知らせページをCheck!





A WOMAN WHO CHOOSES TO CONTRIBUTE

進んで社会に貢献する人に。

真理に堅く立ち、独立した個として
社会に積極的に関わり、
そのための基礎となる確固たる人格を形成すること。
これが私たちの普遍的な教育目標です。
愛と奉仕の精神で社会と関わり、
貢献できる人間を育成し、
毎年多くの卒業生を送り出しています。

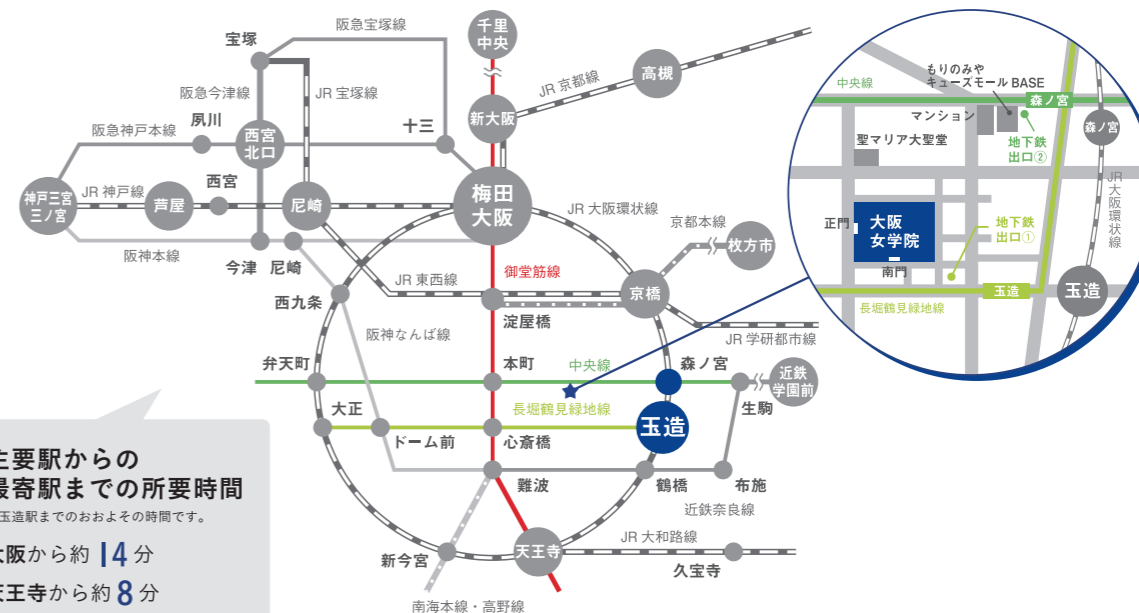
OSAKA JOGAKUIN EDUCATIONAL GOALS

OSAKA JOGAKUIN

大阪女学院 アクセスと最新情報

CAMPUS INFORMATION

THEME 1 Access Map



主要駅からの 最寄り駅までの所要時間

- ※玉造駅までのおおよその時間です。
- 大阪から約 **14**分
- 天王寺から約 **8**分
- 阪急西宮北口から約 **41**分
- 京阪枚方市から約 **41**分
- 近鉄学園前から約 **30**分

周辺最寄り駅から
大阪女学院への
所要時間

- JR 大阪環状線「玉造」下車、西へ500m、空堀町交差点を北へ(徒歩8分)
- JR 大阪環状線・大阪メトロ中央線「森ノ宮」下車、南西へ700m(徒歩12分)
- 大阪メトロ長堀鶴見緑地線「玉造」下車、①番出口を西へ(徒歩3分)
- 大阪シティバス「清水谷高校前」下車、北へ100m(徒歩3分)

THEME 2 Official Website / Screen Settings

学校の基本情報や、最新情報はウェブサイトをご覧ください。



<https://www.osaka-jogakuin.ed.jp/>

大阪女学院 検索

NEW CONTENTS!!



オフィシャルWebサイト内の"MOVIE GALLERY"では、大阪女学院のリアルな「キャンパスライフ」を知ることができます。

オフィシャルFacebookページ、Instagramでは、生徒たちの今の様子やキャンパスのフレッシュな情報を配信しています。



大阪女学院中学校・高等学校
オフィシャルInstagram

<https://www.instagram.com/osakajogakuinram>



大阪女学院中学校・高等学校
オフィシャルFacebook

<https://www.facebook.com/OsakaJogakuin.js.1884>



ウェブサイトをもスマホの ホーム画面に設定しよう!

Set the website on your smartphone's home screen!

STEP 1
ウェブサイトを表示し、「心」をタップ



STEP 2
「ホーム画面に追加」をタップ!



STEP 3
右上の「追加」をタップ、ホーム画面に星型のアイコンが現れます。



Map

Web



大阪女学院 中学校
大阪女学院 高等学校

中学校 TEL.06-6761-4451
高等学校 TEL.06-6761-4113
〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

